



社協から地域の活動者の皆さんへ お手紙のような情報誌。

不安が募る状況下でもできることを懸命に探し、地域福祉活動に向き合っている皆さんを一人にしない。会えない間も地域の今を紡ぎ発信することが、社協の役目ではないかと考えました。

これから毎月1日、活動者の皆さんに宛て地域の今と情報をお届けします。市内にはできることから頑張っている仲間達がいること、困ったときには社協がそばにいることを思い出しながら読んでいただけたら。タイトルには、これまで築いてきたきずなと共にコロナ禍を乗り越えていくという気持ちと、普段の活動に工夫を凝らし1歩進んだきずな活動を一緒にめざしていきたいとの想いを込めて。

お知らせ

今できないことがある、
今だからできることがある

まごころお届けプロジェクト



新型コロナウイルス感染症に向き合いながら進める
見守り活動の新しいかたちの一つです

毎月1日と15日に発行する「まごころレター」を思いやりから地域の要支援者に配付し、つながりづくりと安否確認を行う取り組みです。
まごころレターには登録ボランティアの皆さま、および一登別病院と登別すずらん病院のリハビリ専門職員の協力のもと、自宅でできる簡単な体操を毎月掲載しています。
あなたもまごころを持っている人がいます。一緒に取り組んでみませんか？

『まごころお届けプロジェクト』をつながり維持の一助に

コロナ禍でこれまでと同じような地域福祉活動が難しい中、毎月1日・15日に登別社協から発行する「まごころレター」を地域の活動者（町内会、民生委員・児童委員、サロン関係者等）から見守りが必要な高齢者等へ配布することで、つながりの維持に取り組んでいます。脳トレ問題や、JCHO 登別病院と登別すずらん病院のリハビリ専門職監修の介護予防体操を掲載し、参加いただいている51の団体や個人を通して現在毎月約2,700枚を配布しています。

活用している皆さんからは、「何も持たずに行くよりも気軽な訪問のきっかけとして助けられている」「これまで関わりが持てなかった人からも反応があり、新しいつながりづくりができた」「毎回届くのを楽しみに待っている高齢者が多い」等の声が聞かれます。参加をご希望の方は、登別社協までご連絡ください。

詳しい情報は
こちらから▼



市内活動情報

きずなプロモーションビデオ『コロナ禍での地域の支え合い』公開

できるかたちで工夫を凝らしながら行われている地域福祉活動取材し、ビデオを作成しました。

おいでやサロン / ありあけ町内会主催

コロナ禍こそ人と交流できる機会が必要と、感染予防を講じ6月からサロンを再開。小さな椅子をテーブル代わりに使う工夫で参加者同士



適度な距離を取るため、椅子を机代わりに活用

の間隔を保ち、体操やゲームを取り入れ短時間でも楽しめるよう企画しています。

小沢裕美子さん / 片倉町内会福祉部長

まごころレターを活用しながら、定期的な訪問での安否確認を実施。会える機会が少ない今、互いに元気なことを喜び合い、ついおしゃべりが盛り上がることも。事前に電話で相手の体調や都合を確認してから訪問するよう工夫しています。



その他の活動も紹介したビデオはこちらからご覧いただけます▶



他団体情報

『ボランティアガイド ボランティアの心構えwithコロナ編』 (日本財団ボラサポ2020)

コロナ禍でのボランティア活動に役立つ知識をまとめたリーフレットと、免疫力を下げない工夫や正しい感染予防についての動画がご覧いただけます。

<https://www.volasapo.tokyo/column/2020/3247>

詳しい情報は
こちらから▶



※登別社協では掲載情報の印刷や、随時個別でインターネット、LINE等の使い方をレクチャーすることも可能ですので、お気軽にご相談ください。

Kizuna &

地域福祉活動のお悩みは社協まで



社会福祉法人 登別市社会福祉協議会
〒059-0016 登別市片倉町6丁目9-1
総合福祉センターしんた21内
TEL / 0143-88-0860
web / <http://kizuna-shakyo.jp/>
mail / info@kizuna-shakyo.jp